

ミニ企画展

しも みや 三村地区・下ノ宮遺跡展

下ノ宮遺跡は、石岡市三村地区に存在する遺跡です。ここ数年、道路建設や電波塔建設、防火水槽設置工事などに伴い、8回もの試掘・発掘調査が行われています。それぞれの調査面積は狭いものの、1万年以上前の旧石器時代から近世に至るまで幅広い時代の資料が出土しており、三村地区の歴史が少しずつではありますが、解明されてきました。

今回は、それら成果の一部をご紹介します。



下ノ宮遺跡の位置と調査地点(☆)

旧石器時代～縄文時代草創期

旧石器時代とは、人類が日本列島に住みはじめた時代です。今から約9万年前～1万3000年前にあたります。まだ土器は使用していなかったことから「先土器時代」とも呼ばれます。

下ノ宮遺跡では、住居跡などの「遺構」はまだ確認されていませんが、平成15年11月の電波塔建設に伴う調査で、「石核」という石器を製作した際に残った原石が出土しています。また、この石材は「ガラス質黒色安山岩」という那珂川流域で採集されるもので、旧石器時代～縄文時代草創期に石器の石材として盛んに利用されています。下ノ宮遺跡に住んでいた人々が、那珂川まで石材を採集に行ったか、もしくは交易によって手に入れたのでしょうか。

縄文時代

縄文時代とは、土器を使用するようになった時代です。今から約1万3000年前～2500年前までの約1万年間になることから、土器の形や描かれている文様の違いによって、草創期・早期・前期・中期・後期・晩期の6つの時期に分けられています。

下ノ宮遺跡では、旧石器時代～縄文時代草創期と考えられる石器のほか、早期から晩期まですべての時期の土器が出土しており、継続的に人が住んでいたことがわかります。なかでも晩期のものは市内では下ノ宮遺跡だけでしか見つかりません。また土偶の脚部とされる破片も採集されています。



縄文時代の竪穴住居跡（平成18年12月発掘調査）

弥生時代

弥生時代とは、日本列島で本格的な稲作農耕がはじまった時代です。今から約2500年～1700年前にあたります。

下ノ宮遺跡では、平成15年11月の電波塔建設に伴う調査で弥生土器の破片が出土しているほか、平成18年12月の農道建設に伴う調査では「有角石器」と呼ばれる側面に角のような突起のある奇妙な形の石器が出土しています。

この「有角石器」とは、弥生時代でも中頃（約2000～1800年前）のもので、金属製の剣を模倣した祭祀用の石器と考えられています。しかし、具体的な使い方はわかっておらず、下ノ宮遺跡出土のものも、先端に叩いたような痕跡がありますが、これが実際に使用した際の痕跡なのかは、よくわかりません。

いったいどのように使ったのでしょうか？

古墳時代

古墳時代とは、王の墓として「前方後円墳」などの古墳が造られた時代で、今から約1700年～1400年前にあたります。石岡市でも東日本第2位の規模を誇る舟塚山古墳など、数多くの古墳が造られています。

下ノ宮遺跡では、平成3年2月試掘調査地点、平成15年7月発掘調査地点、平成15年11月発掘調査地点、平成18年12月発掘調査地点、平成19年6月試掘調査地点と、広い範囲で古墳時代の竪穴住居跡が発見されており、大集落であったことがわかります。



平成15年7月発掘調査風景（防火水槽設置に伴う調査）
掘り進めているのが古墳時代の住居跡。
右側は中世の溝。

奈良・平安時代

奈良時代になると、石岡市は「常陸国」の一部となり、その中心地となる国府（現在の県庁）は、現在の石岡小学校の場所に置かれました。

下ノ宮遺跡でも平成18年12月発掘調査地点や平成19年6月試掘調査地点などで、竪穴住居跡が確認されており、古墳時代に引き続き、集落が営まれていたようです。



平安時代の竪穴住居跡

（平成18年12月発掘調査）

写真上の出っぱっている場所がカマドの跡

中世・近世

中世の石岡は、府中城を本拠地とする常陸大掾氏によって治められていました。戦国時代になると周辺からの攻撃に備えるために各地に支城が築かれ、三村地区にも現在の三村小学校の場所に「三村城」が築かれます。

下ノ宮遺跡では、三村城寄りの平成15年7月発掘調査地点の溝跡から13世紀代の土器が出土しています。三村城よりも古いもので、三村城の前身となる施設が下ノ宮遺跡の地に存在していたのかもしれない。



◀ 中世の溝

(平成18年12月発掘調査)

写真左側の溝からは、中国からもたらされた白磁の破片が出土しています。

参考文献

- 『下ノ宮遺跡—KDDI電波塔建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』2004年
- 『石岡市内遺跡調査報告書』2006年
- 『市内遺跡調査報告書 第2集』2007年
- 『市内遺跡調査報告書 第3集』2008年
- 『市内遺跡調査報告書 第4集』2009年
- 『下ノ宮遺跡—県営畑地帯総合整備事業（三村地区）に伴う発掘調査—』2009年

※今回展示した資料の発掘調査の報告書です。市立図書館でご覧になれます。

また、展示に関する質問や、より詳しく知りたい方は、教育委員会生涯学習課(担当：曾根)までご連絡ください。

ミニ企画展

三村地区・下ノ宮遺跡展 解説リーフレット

平成22年10月4日～17日
石岡市役所本庁舎1階ロビー

編集・発行 石岡市教育委員会
生涯学習課

〒315-0195 石岡市柿岡5680-1
電話 0299-43-1111 (内線1233)
FAX 0299-43-1117